

科目名	産業創造セミナー		英文表記	Creative Industry Seminar	2015年2月27日		
科目コード	3101		教員名:山城、富澤(機械)、杉本(情報)、鈴木(メディア)、玉城(生物)				作成
技術職員名:							
対象学科/専攻コース		学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態	授業期間
機械システム工学科		3年	必	履修	2単位	講義	通年
科目目標	産業や仕事に関心を持ち、自分の進路に関して考えるきっかけをつかみ、基礎的なビジネス関連用語を理解するとともに簡単な事業計画書を作成し、社会の仕組みを考えることができることを目標とする。						
総合評価	前期評価:定期試験(ビジネス関連試験)(50%)とレポート(50%)で評価する。 後期評価:起業企画書と発表(80%)と起業家講演会レポート(20%)で評価する。 学年末評価は前期評価と後期評価の平均で行い、60%以上を合格とする。						
科目目標達成度	科目達成度目標		達成度目標の評価方法	ルーブリック			
				理想的な到達レベル	標準的な到達レベル	最低限必要な到達レベル	セルフチェック
	①	産業や仕事に関心を持ち、自分の進路に関して考えるきっかけをつかむ。	正しく説明できるかレポートで評価する。(40%)	産業や仕事に関心を持ち、疑問点を発言(質問)または提示できる。	提供された話題について、適切にまとめることができる。	授業に参加して講話を聴くことができる	
	②	基礎的なビジネス関連用語を理解し、社会の仕組みを考えることができる。	正しい計算できるか、用語を説明できるか定期試験および講義での小テストで評価する。(20%)	基礎的な専門用語を用いて論述できる。	基礎的なビジネス専門用語について説明できる。	授業に参加して、授業内容を理解できる	
	③	簡単な事業計画書を作成できる。	起業企画書を作成し正しく発表できるかプレゼンテーションと資料で評価する。(30%)	自己の企画・立案書をグループディスカッションを通して検討、再構築できる。	様式に沿って自己の計画書を立案できる。	計画書の様式をPCを使って作成できる	
本科・専攻科教育目標	1	2	3	4			
	○		○				
評価方法と評価項目および関連目標に対する評価割合							
	目標との関連	定期試験	小テスト	レポート	その他(演習課題・発表・実技・成果物等)	総合評価	セルフチェック
評価項目		40	0	30	30	100	
基礎的理解	①②③	20		10	10	40	
応用力(実践・専門・融合)	②③	5		5	5	15	
社会性(プレゼン・コミュニケーション・PBL)	③	10		10	10	30	
主体的・継続的学修意欲	①②③	5		5	5	15	
授業概要、方針、履修上の注意	起業家による講演で創業の経緯と経営課題、経営学分野の非常勤講師による講義を通じてビジネス関連の基礎知識を学び、参考資料とサンプルに基づいてグループ単位で事業計画書を作成する。						
教科書・教材	各講師配布資料						

授 業 計 画					
週	授 業 項 目	時間	授 業 内 容	自学自習 (予習・復習)内容	セルフ チェッ ク
1	ガイダンス	2	目標・授業概要および進め方を説明する		
2	講演(1)	2	先端起業科学研究所 竹内裕明所長		
3	ビジネスの基礎(1)	2	ビジネスの基礎「企業とは何か(企業活動・仕組み・種類)」	プリント問	
4	ビジネスの基礎(2)	2	ビジネスの基礎「企業の設立手続き」	プリント問	
5	ビジネスの基礎(3)	2	ビジネスの基礎「企業の三つ形態とライフサイクルとマネージメント」	プリント問	
6	ビジネスの基礎(4)	2	ビジネスの基礎「企業の戦略①(経営戦略・PPM分析)」	プリント問	
7	ビジネスの基礎(5)	2	ビジネスの基礎「企業の戦略②(マーケティング戦略)」	プリント問	
8	ビジネスの基礎(6)	2	ビジネスの基礎「経営戦略」	プリント問	
9	ビジネスの基礎中間試験	2	ビジネスの基礎中間試験	プリント問	
10	ビジネスの基礎(7)	2	ビジネスの基礎「損益計算書」	プリント問	
11	ビジネスの基礎(8)	2	ビジネスの基礎「貸借対照表」	プリント問	
12	ビジネスの基礎(9)	2	ビジネスの基礎「経営分析」	プリント問	
13	ビジネスの基礎(10)	2	ビジネスの基礎レポート	プリント問	
14	ビジネスの基礎(11)	2	先端起業科学研究所 竹内裕明所長	プリント問	
15	講演(2)	2	情報通信システム工学科担当(シーポイント野澤社長)		
期末	期末試験	[2]			
16	事業計画(1)	2	起業企画書の作り方(グループ編成)	プリント問	
17	事業計画(2)	2	起業企画書作成(グループ)	プリント問	
18	事業計画(3)	2	起業企画書作成(グループ)	プリント問	
19	事業計画(4)	2	起業企画書作成(グループ)	プリント問	
20	事業計画(5)	2	起業企画書作成(グループ)	プリント問	
21	事業計画(6)	2	起業企画書作成(グループ)	プリント問	
22	事業計画(7)	2	学科別発表会		
23	講演(3)	2	メディア情報工学科担当		
24	講演(4)	2	情報通信システム工学科担当		
25	講演(5)	2	メディア情報工学科担当		
26	講演(6)	2	情報通信システム工学科担当(レキサス比屋根社長)		
27	講演(7)	2	機械システム工学科担当		
28	講演(8)	2	機械システム工学科担当		
29	講演(9)	2	生物資源工学科担当		
30	講演(10)	2	生物資源工学科担当		
期末	期末試験	[2]			
学習時間合計		60	実時間	45	
自学自習(予習・復習)内容(学修単位における自学自習時間の保証)				標準的所用時間(試行)	
①					
②					
③					
備考欄					
この科目はJABEE非対応科目である。その他必要事項は各コースで決める。					